



「第三中学校」という 大きな船の航海

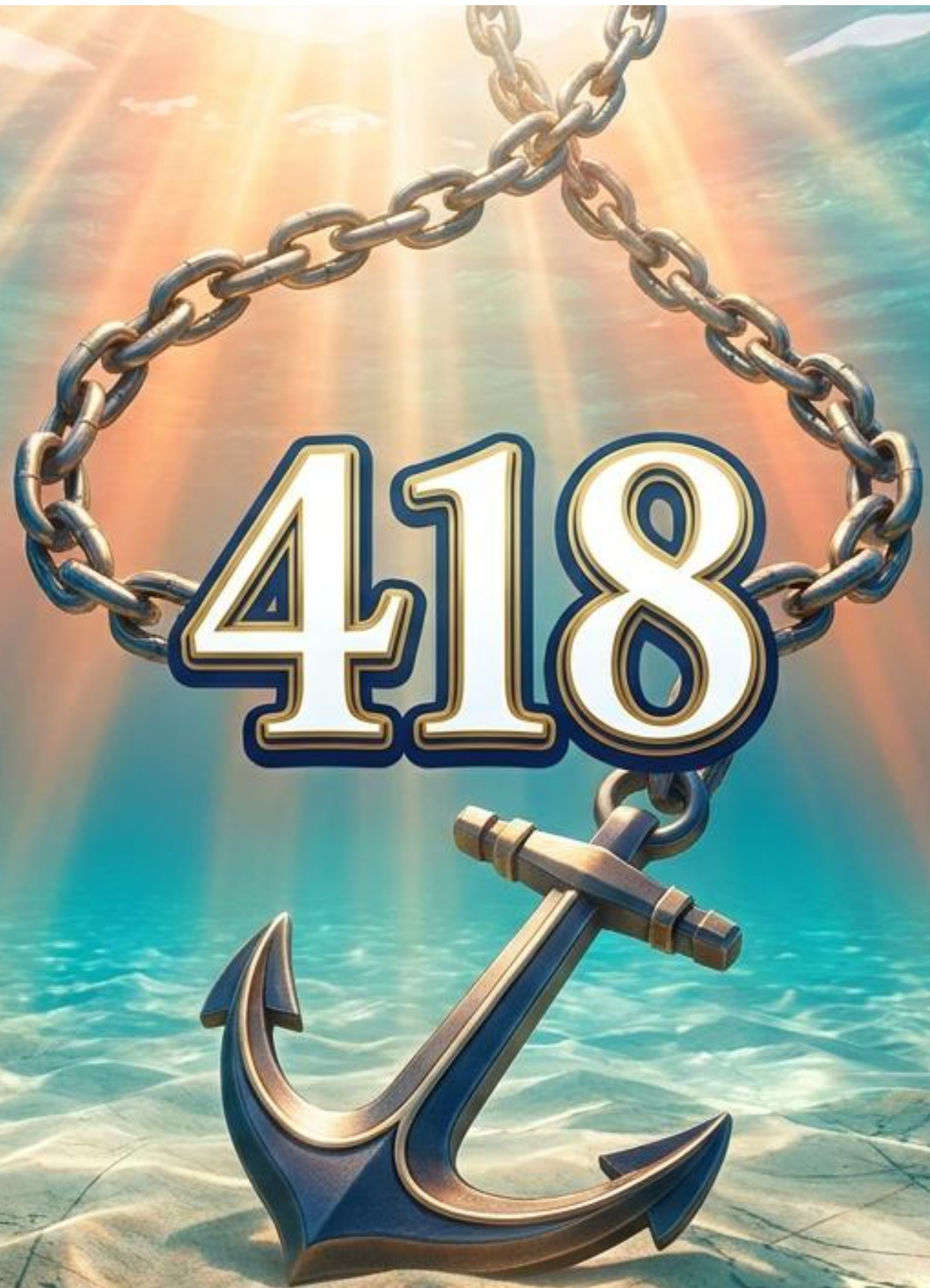
1学期の旅を終えて —— 船長からの航海日誌

港「夏休み」への無事到着

乗組員数 : 418名

ステータス : 全員無事に1学期の
航海を完了。

新しい学級での
『うきうき・ドキドキ・ワクワク』
の旅から始まり、
ついに一つの目的地に
錨(いかり)を下ろしました。



航海を導いた4つの羅針盤

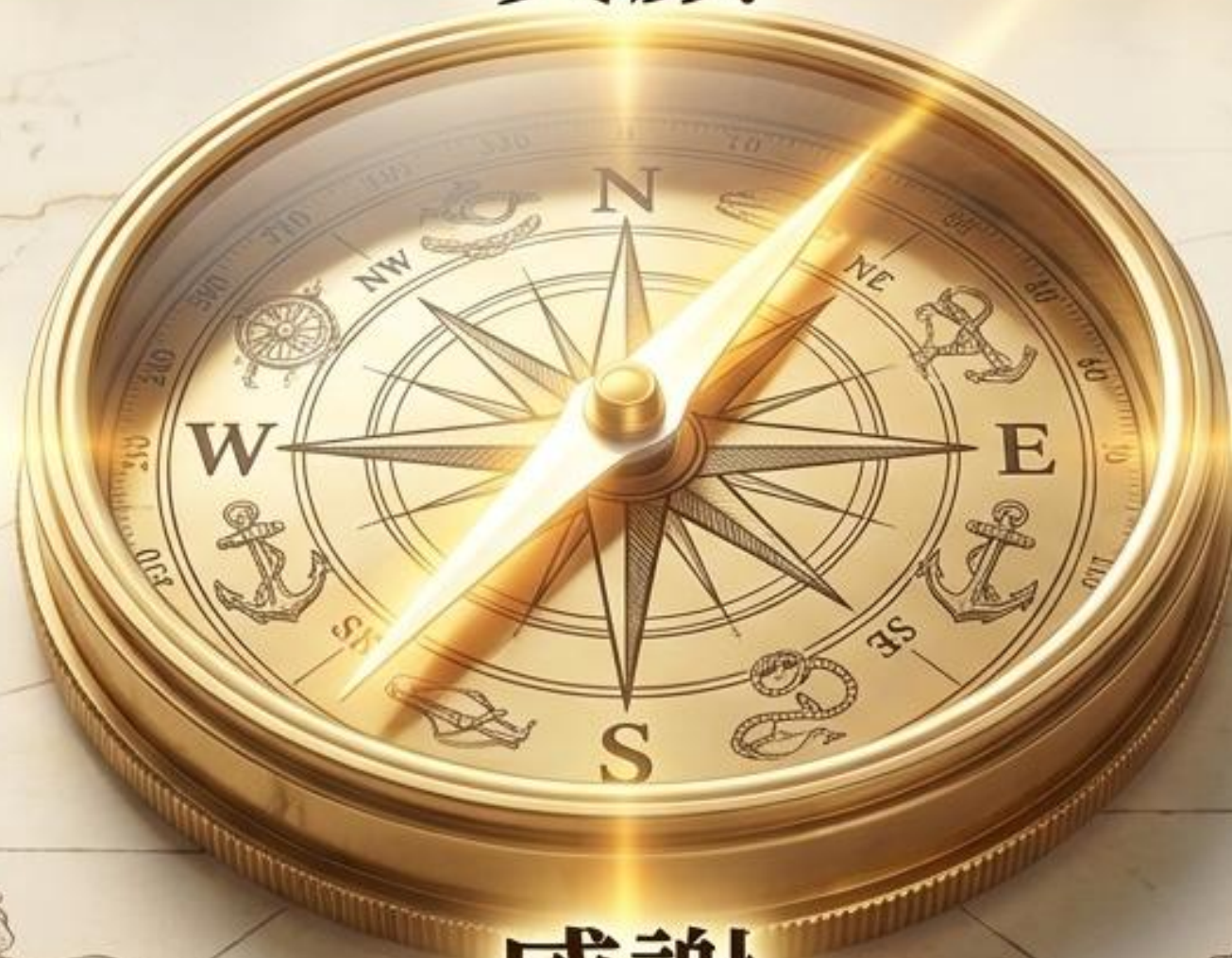
始業式の日に約束した、私たちの進むべき方向。
この航海は、これらの光に導かれていたでしょうか？

笑顔

尊重

前向き

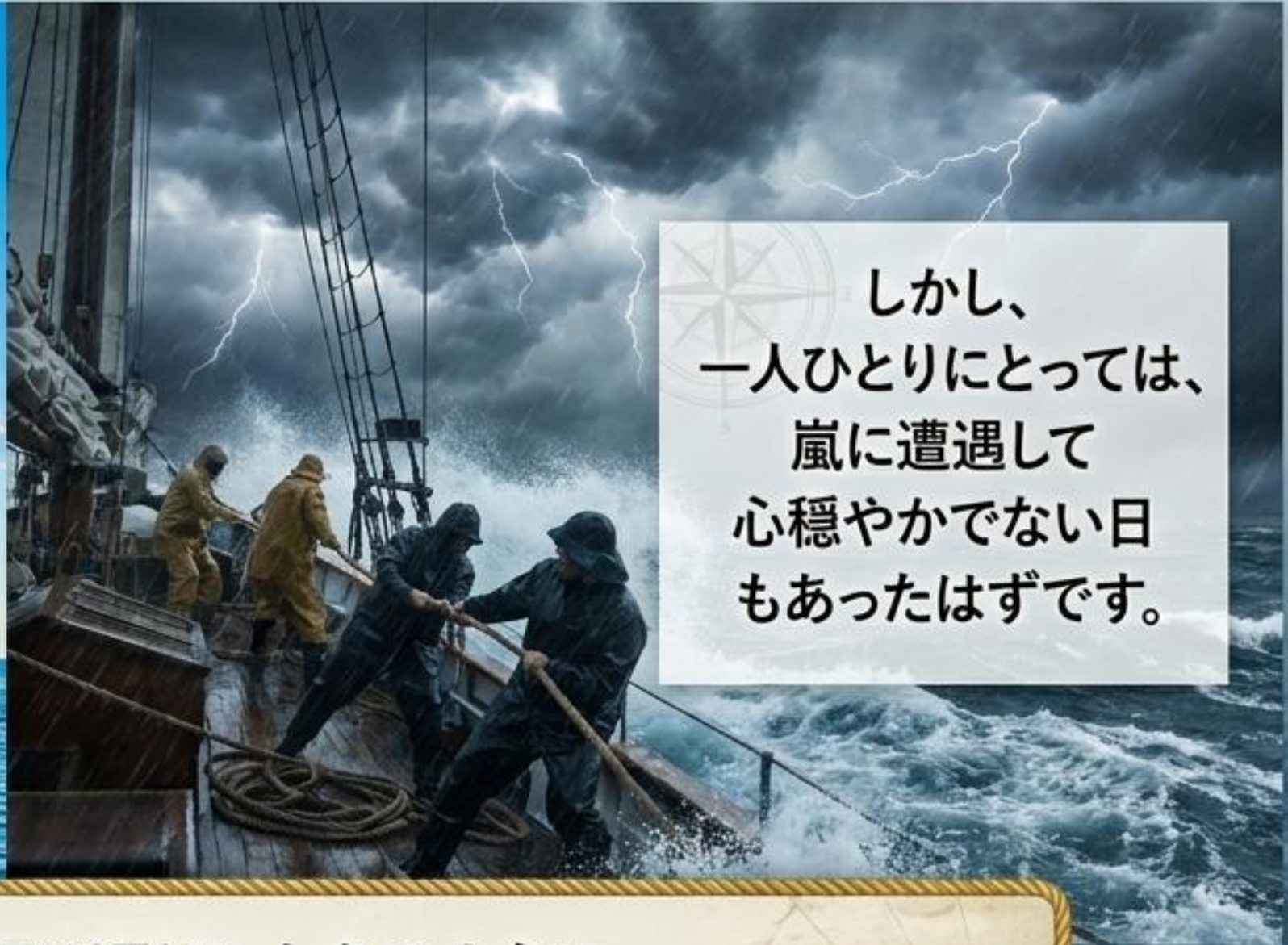
感謝



順風満帆な日と、嵐を越えた日



学校全体としては、
概ね順風満帆な
大海原でした。



しかし、
一人ひとりにとっては、
嵐に遭遇して
心穏やかでない日
もあったはずです。

生徒会長・尾崎さんの振り返りにもあるように、
友達と協力し、助け合う姿がこの嵐を乗り越える力でした。

船を前へ進める原動力：私たちのクルー

主役、主役を支える役、裏方——それぞれの持ち場で一生懸命努力し、素敵な物語を創り上げました。

1年生
(帆 / 動力)

2年生
(骨組み / 安定)

3年生
(操舵手 / 針路)



1年生： 新しい風を 捉える「帆」

中学校という全く新しい大海原への適応。

日々成長し、三中という船に新鮮なエネルギーと推進力をもたらしてくれました。



2年生：船体 を安定させる 「骨組み」

先輩と後輩の間を取り持つ
重要な架け橋。

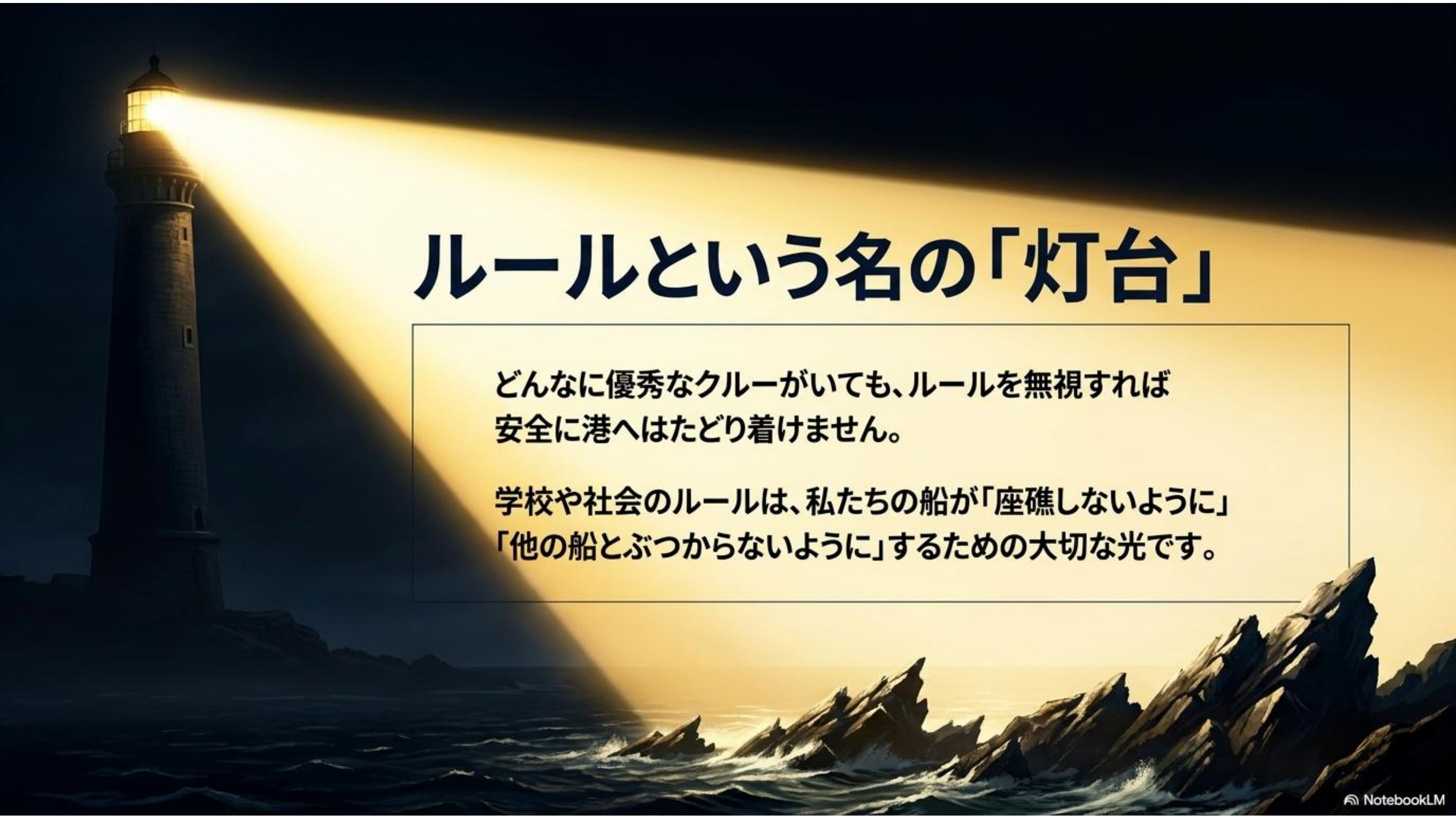
バランスよく活躍し、船全
体をしっかりと支える頼も
しい存在へと成長しました。

The background of the slide is a photograph of a ship's steering wheel, made of polished wood with brass accents, positioned on the deck. The ship is sailing on a calm blue sea under a clear sky with a warm, golden sunset or sunrise glow on the horizon. The text is overlaid on the left side of the image, enclosed in a white box with a dark blue border.

3年生： 針路を見据える 「操舵手」

体育祭を盛り上げ、
部活動で後輩を力強く牽引。

いよいよ「自身の進路」
という次の海域へ向け、
具体的に舵を切り始めて
います。



ルールという名の「灯台」

どんなに優秀なクルーがいても、ルールを無視すれば
安全に港へはたどり着けません。

学校や社会のルールは、私たちの船が「座礁しないように」
「他の船とぶつからないように」するための大切な光です。

上陸休暇（夏休み）：自由とそれに伴う責任



1. 学校から離れ、自由な時間が増える「港」での生活。

2. 行動や発言に対する責任が一層重くなります。

3. 三中という船の一員であるプライドと自覚を持ち続けること。



姿の见えない通信：SNSの航海術

顔が見えない通信では、安易な発言が巨大な嵐を引き起こすことがあります。



見えない相手であっても、「尊重」と思いやりの態度を忘れないこと。



危険信号：絶対にお世話にならない「3つの車」

夏休みの間、この3つの車両に乘客として関わることは絶対に避けてください。自他の命と未来を守るための絶対的なルールです。



白黒



赤



白

次の航路図：2学期に向けて

1

この夏、さらに力を蓄え、
心身ともにたくましく
成長してください。

2

灯台の光を見失わず、
正しい行動を選択し
続けること。

第2学期
始業式

充実した「夏休み」という港での時間を！

1学期の航海で見てくれた努力と成長は、本当に素晴らしいものでした。
2学期の始業式で、皆さんと再び航海に出ることを楽しみにしています。

Bon Voyage! (良い旅を！)